

第 24 回子育て支援ワークショップ「子育てに役立つ心理学」

「子どもが学校に行きたくないと言ったとき」開催レポート

スタッフ 上田恵子



講義の様子



質疑応答の様子

11月18日（日）第24回子育て支援ワークショップを開催し、33名の方が参加されました。今回は、子どもの状況や年齢に合わせた対応について、講師の後藤弘美先生から学びました。前半は講義、後半は質疑応答。

<講義>

まず、不登校のケースはさまざまで、対応は1ケース、1家族ごとに違う。また子どもの資質や器質、家庭環境や家族関係、学校や地域の環境と人間関係など、複雑に絡み合っただけの症状であり、ベースにある問題は別であるというお話が最初にありました。

そして不登校の要因として、いじめはないか、子どもの環境や人間関係はどうなっているのか、心身（病気・発達・精神）はどうなのか、生活習慣は乱れていないかなど、子どもの状態を丁寧に把握することが大事というお話があり、実際に「子どもの状態チェックシート」と使って、それぞれのお子さんの状態をチェックしてみました。

また子どもへの基本的な対応として、気持ちや考えを傾聴し受容・共感すること、行動は安易に許容しないこと、認める・褒めることで心の安定とエネルギーアップさせることについて詳しく学びました。

後半は事例を3ケース挙げて、対応について具体的に解説していただきました。

<質疑応答>

休憩中にたくさんの質問が寄せられ、限られた時間の中でしたが、すべての質問に答えていただきました。

「ゲームがやめられない」「中3で進路が心配」「誰にも会いたくないと言う」「学校に行きたくないけど、行きたいと言う」「ルールを守れない」など。今、実際に我が家で困っていることについて、的確なアドバイスをもらうことができました。